

関西大学法学論集 第73巻 総目次

論 説	号 頁 通巻頁
明治初期の死刑宣告の動向 ——京都府史記載の全死刑宣告事件を 素材に—— (3)	永 田 憲 史…… 1 (1) (1)
刑罰論から見た恩赦制度 (3) ——ドイツ恩赦制度に関する議論を 参考にして——	飯 島 暢…… 1 (41) (41)
旧中国律の「実行の着手」規定 「已行」について	佐 立 治 人…… 1 (1) (178)
「ハンセン病患者・回復者及びその家族に 対する差別撤廃のための原則及び ガイドライン」の国内の実施 ——その成果と課題——	木 村 光 豪…… 2 (1) (179)
バスカル・ペリノーのポピュリズム論：再考	土 倉 莞 爾…… 3 (1) (287)
株主意思確認総会を経た敵対的買収防衛 策の内容の相当性についての検討 (1)	伊 藤 吉 洋…… 3 (40) (326)
国際人権法と法多元主義 ——子どもの権利条約を手がかりに——	木 村 光 豪…… 3 (68) (354)
妊婦の死刑執行を延期する旧刑法の 規定の由来について	佐 立 治 人…… 3 (1) (430)
名誉毀損（誹謗中傷）に基づく侵害行為差止 仮処分とその執行としての間接強制について	池 田 愛…… 4 (1) (431)

刑法は東洋の古律に限る

——旧中国律の讚美者花井卓蔵の老人免罪論——

佐 立 治 人…… 4 (1) (680)

「ブリュッセル I a規則 (Verordnung (EU)

Nr. 1215/2012)」について

春 日 偉知郎…… 5 (1) (681)

明治初期の死刑宣告の動向

——京都府史掲載の全死刑宣告事件を

素材に—— (4)

永 田 憲 史…… 5 (25) (705)

無電柱化をめぐる法システムと

今後の法制的課題

田 中 謙…… 5 (47) (727)

「企業買収における行動指針」に

ついての検討 (1)

伊 藤 吉 洋…… 5 (113) (793)

マグナ・カルタは罪刑法定主義の

淵源ではない

——その事実がもたらす効果について——

佐 立 治 人…… 5 (1) (938)

「企業買収における行動指針」に

ついての検討 (2・完)

伊 藤 吉 洋…… 6 (1) (939)

研究ノート

詐害事業譲渡・商号続用法理に

かかる裁判例の動向

——「濫用的会社分割」補遺——

原 弘 明…… 2 (35) (213)

中世ピサ海法史覚書き

——コムーネの始期から最盛期にかけて——

栗 田 和 彦…… 4 (41) (471)

行政組織としての独立行政委員会：その動態

——1970年代後半～2000年代初めの

公正取引委員会を事例として——

森 本 哲 郎…… 4 (125) (555)

判例研究

乾汽船株主総会決議取消請求訴訟

原 弘 明…… 3 (95) (381)

翻 訳

ビンディングの刑法理論 (4)

飯 島 暢…… 1 (69) (69)
川 口 浩 一
中 村 悠 人

アリス・クルス

「ハンセン病患者・回復者と
その家族の到達可能な最高水準の
身体と精神の健康に対する権利

木 村 光 豪…… 1 (109) (109)

ビンディングの刑法理論 (5)

飯 島 暢…… 2 (44) (222)
川 口 浩 一

ビンディングの刑法理論 (6)

飯 島 暢…… 3 (107) (393)
川 口 浩 一
一 原 重貴子

ビンディングの刑法理論 (7)

飯 島 暢…… 4 (159) (589)
川 口 浩 一
佐 竹 宏 章

規範の基礎づけと帰属

——限縮的正犯行為概念の基盤——

佐 川 友佳子…… 4 (179) (609)
仲 道 祐 樹

翻訳「ブリュッセル I a規則」

春 日 偉知郎…… 5 (145) (825)

アリス・クルス

「重複障害と流動的な自己認識
——ハンセン病患者・回復者とその
家族が享有する障害者の権利と
国の法的枠組みへの挑戦方法」

木 村 光 豪…… 5 (179) (859)

アリス・クルス

「ハンセン病患者・回復者とその
家族に対する差別撤廃における進展と
残された課題」

木村光豪…… 6 (35) (973)

鄭克撰『折獄龜鑑』の訳注(一)

佐立治人…… 6 (1) (1070)

資 料

呉訥撰・若山拯訓読『祥刑要覧』の訳注補遺

佐立治人…… 2 (1) (286)

最高裁において永山事件第一次上告審
判決以降令和4年末までに確定した
死刑判決一覧

永田憲史…… 6 (63) (1001)

書 評

鶴見俊輔著『日本思想の道しるべ』
(中央公論新社, 2022年)

土倉莞爾…… 1 (139) (139)

梅津實『イギリスと欧州統合一体化を
拒みつづけた軌跡』
(田中プリント, 2022年)

土倉莞爾…… 2 (70) (248)

ジャン＝イヴ・カミュ, ニコラ・ルブール
(南祐三監訳 木村高子訳)
『ヨーロッパの極右』(みすず書房, 2023)

土倉莞爾…… 4 (210) (640)

水島治郎

『隠れ家と広場 移民都市アムステルダムの
ユダヤ人』(みすず書房, 2023年)

土倉莞爾…… 5 (208) (888)

執筆者紹介

伊藤吉洋 関西大学教授

木村光豪 関西大学非常勤講師

佐立治人 関西大学教授

永田憲史 関西大学教授